H30 アクションプランシート　事業 No.19

Ⅰ．事業の基礎情報

事業名		企業誘致事業				担当部・グループ名	都市政策部 企業支援グループ					
総合計画（基本計画）体系	個別目標	（6）産業を活性化して、まちを元気にします										
	こんなことに取り組みます	農地とのバランスを考慮しつつ新たな工業用地を創出し、企業誘致を進めるとともに、既存企業の投資意欲を高める支援策を推進します。										
	みんなで目指すまちづくり指標名	市内の法人数										
		計画策定時の値（2017）	919	実績値（2018）		実績値（2019）		実績値（2020）		目標値（2021）	930	（単位）社
総合戦略		■該当する　□該当しない				予算事業名	産業経済活性化事業					

Ⅱ．目指す姿

このアクションプランによって実現したい目指すべき市の姿	☆新たな工業用地の創出による企業立地の促進や企業の新たな設備投資に対する支援制度の活用を促すことにより、市民生活の基盤である産業が安定するとともに、地域経済が活性化し、産業活動が活発に行われることで、税収の安定的な確保につながり、市の財政基盤が強化され、まち全体が元気になっている。

Ⅲ．これまでの成果・課題【CHECK】【ACTION】

これまでの取り組み（目指す姿実現のためにこれまで何をしてきたのか）	◇豊田町地区は、愛知県企業庁による開発事業で進めることとした。	
	◇豊田町地区の造成工事に着手した。	
	◇小池町地区は、民間企業による開発事業で進めることとした。	
	◇企業の新たな設備投資に対して奨励金や補助金を交付した。	
	◇工場立地法に基づく緑地面積率の緩和措置を講じた。	
成果（これまでの取り組みの成果）	地域経済の活性化や地域雇用の安定に向け、２地区の新たな工業用地の開発事業の推進、工場立地法に基づく緑地面積率の緩和措置を講じるなど、企業のニーズにあわせ新たな施策を講ずることができた。また、奨励金や補助金の交付により、新たな企業の誘致や市内企業の市外などへの流出防止を図ることができた。	
課題（目指す姿実現に向け、これまでの取組みから見えてきた課題）	①	豊田町地区は、造成工事の進捗を図るため、開発主体である愛知県企業庁や各種関係団体と協議・調整を行うとともに、工事の進捗状況に応じた情報発信を行う必要がある。
	②	小池町地区は、企業による民間開発により事業を進めることとしており、開発に向け必要な諸手続きを支援する必要がある。
	③	企業の新たな設備投資を促すため支援制度の周知を図るとともに、支援制度の効果を検証する必要がある。

（様式第１）

Ⅳ．目指す姿の実現に向けた４年間の工程表・事業費概要【PLAN】

事業年度	2018（平成 30 年度）	2019（平成 31 年度）	2020（平成 32 年度）	2021（平成 33 年度）
事業計画	豊田町地区 造成工事の完了	工場建設及び操業	工場建設及び操業	工場建設及び操業
	小池町地区	開発手続きの完了	造成工事の完了	工場建設及び操業
	支援制度の PR･効果の検証			

事業費総額(千円)		（当初）	9,090	（見込）	60,455	（見込）	60,455	（見込）	60,455
財源内訳	一般財源		9,090		35,455		35,455		35,455
	特定財源		—		25,000		25,000		25,000
特記事項		平成 31 年度以降の事業費の増加は、支援制度の対象企業の増加を見込んでいる。							

Ⅴ．課題解決に向けた取組み【DO】　／　平成 30 年度事業費積算根拠

対応する課題	課題の解決に向けて・・・　平成 30 年度に取組むこと　・　平成 33 年度までに取組むこと	
①	平成 30 年度	◆豊田町地区は、平成 31 年２月末の造成工事完了を目指し、開発主体や関係機関とより一層の連携を図る。 ◆開発主体と造成工事の進捗状況に応じた情報発信や造成工事の完了に向けた協議・調整を実施する。
②	平成 30 年度	◆小池町地区は、早期の造成工事への着手を目指し、開発主体や関係機関と各種手続きなどの協議・調整を実施する。
	平成 31～32 年度	◇開発主体等と造成工事の完了に向けた協議・調整を実施する。
③	平成 30 年度	◆国等の施策や企業ニーズを踏まえ、また、効果を検証しながら支援制度の見直しを検討する。
	平成 31～33 年度	◇支援制度をＰＲするとともに効果を検証する。
平成 30 年度（事業費の内訳）		・工事請負費　3,334 千円　・負担金、補助及び交付金　4,360 千円 ・その他　1,396 千円